

高等学校家庭科向け

2026 年度版

「生活設計とリスクへの備え」
授業展開案（50 分）

1. 学習のねらい

- ・ライフイベント（結婚や教育等）にかかるお金について学び、働くなど収入を確保することが、自立した生活設計の大切な要素であることを認識させる
- ・家庭生活に影響を及ぼすリスクの存在について知る
- ・リスクに備える方法として、公的保障・私的保障についてそれぞれの役割を学ぶ
- ・代表的な私的保障である、預貯金と民間保険について理解を深める

2. 授業の概要（50分）

概要	学習内容とねらい
導入 (10分)	1. 生活設計とお金 ～将来について考えてみよう～ ★人生にはさまざまなライフイベントがあり、それぞれお金が必要であることを認識する
展開① (10分)	2. リスクへの備え ～3つの保障を理解しよう～ ★人生には様々なリスクが潜在していることを知る。またリスクに備える方法について学ぶ
展開② (20分)	3. 公的保障と私的保障 ～国からのサポートと自分たちで準備するもの～ ★公的保障の中の社会保障制度について学ぶ ★代表的な私的保障である預貯金と民間保険について、そのしくみと特徴を理解する
まとめ (10分)	4. まとめ ★授業のふりかえりをする

3. 授業形式

- ・パワーポイントと生徒用ワークシートを用いた講義形式

4. 準備物

- ・生徒用ワークシート（WS）
- ・パソコン（パワーポイントが使える環境のもの）
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・筆記用具（生徒）

～ 各種参考資料のご紹介 ～

1-1. カードゲーム教材

「ソナソナ～備える者たちに幸あれ～」

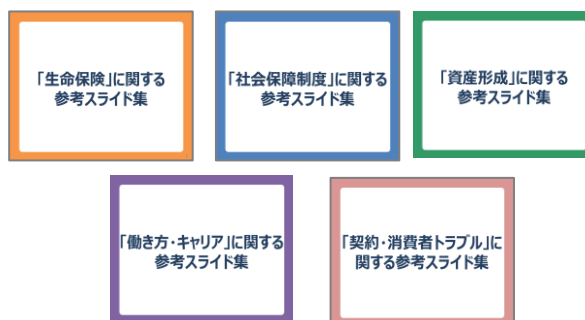


1-2. 生徒用ワークブック

「君とみらいとライフプラン」



2. テーマ別「参考スライド集」



- ★授業時間が50分以上ある
- ★2コマ連続で授業を行いたい
- ★授業展開案の内容を補足したい

上記のような場合に、ぜひご活用ください！！

※教員用手引書・パワーポイントデータもご用意しております。

★授業内で補足資料としてご活用いただけるスライドをテーマ別にまとめた「参考スライド集(生命保険、社会保障制度、資産形成、働き方・キャリア、契約・消費者トラブルの計5種類)」もごございます！


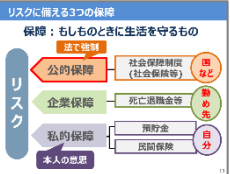
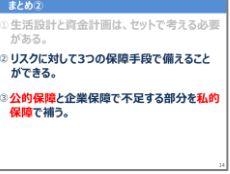

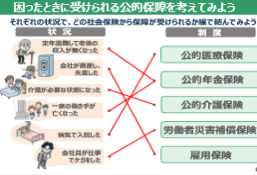
★本展開案に各テーマの使用推奨箇所と各スライド番号を掲載しています。

5. 授業展開（詳細）

【図記号の説明】

○：スライドタイトル 【WS】ワークシート掲載
 ★：ポイント ★★★：重要ポイント (Q.)：発問

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
導入 10分	       	<h3>1. 生活設計とお金</h3> <p>○将来を考える【WS】穴埋め ★問いかけをしながら自分の将来を連想させる</p> <p>○さまざまなライフコース【WS】 ★人生を俯瞰したフローチャート図で具体的に将来を想像させる</p> <p>○さまざまなライフイベント ★代表的なライフイベントを示し、それぞれお金がかかることを確認する</p> <p>○ライフイベントにかかる費用①【WS】穴埋め ★具体的にどれだけお金がかかるのか三択クイズを使って紹介する</p> <p>○ライフイベントにかかる費用②【WS】穴埋め ★自分にもたくさんのお金がかかっていることを認識させる</p> <p>○収入と支出のバランスを考える ★高校生と社会人の収支のグラフ例をもとに、働くなど収入を確保することが、自立した生活設計の大切な要素であることを認識させる</p> <p>○まとめ①【WS】穴埋め ★★★生活設計は資金計画とセットで考える必要があることを理解させる</p>	<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフコース：人が一生の間にたどる道筋のこと ・ライフイベント：人生の節目となる出来事のこと <p>(Q) 三択クイズは挙手を求める ・金額はあくまで平均であることを補足する</p>	<p>【働き方・キャリア】スライド5・14・15・16・19</p>     
展開① 10分	 	<h3>2. リスクへの備え</h3> <p>○リスクとは何か【WS】書き込み ★リスクとは何か、普段の生活の中でどんなリスクがあるかを想像させ、発生すると経済的な損失を被ることを認識させる</p> <p>○生活設計に重大な影響を与えるリスク【WS】穴埋め ★リスクの発生データを紹介し、生活設計に重大な影響を与えるリスクも、少なからず発生していることを認識させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資金計画を立てていても「予期せぬこと」が起きて計画が狂ってしまうかもしれないと展開する ・想像させた普段の生活の中にあるリスクはWSに書かせる 	

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
	  	<p>○リスクに直面した高校生の事例</p> <p>★リスクが他人事や将来のことではなく、身近なことだと認識させる</p> <p>★★★自分の心がけてある程度リスクを避けられることを説明する</p> <p>★★★ただし、リスクを避けられず、多くの費用が発生する可能性もあることを認識させる</p> <p>○リスクに備える3つの保障【WS】穴埋め</p> <p>★リスクに対する経済的な備えとして、公的保障、企業保障、私的保障（3つの保障）があることを説明する</p> <p>○まとめ②【WS】穴埋め</p> <p>★★★リスクに対して3つの保障があること、公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補完することを伝える</p>	<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスク：予想できない事態により経済的損失や不利益を被る可能性のこと <p>(Q.) 損害賠償額は、生徒に答えさせてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例で言えば、交通ルールを守っていれば事故は起きなかった(リスクは避けられた) ・このような避けられないリスクはどうすればよいか?と問いかけて次スライドに展開する 	
<p>展開 ② 20分</p>		<p>3. 公的保障と私的保障</p> <p>○社会保障制度の概要【WS】穴埋め</p> <p>★代表的な公的保障である社会保障制度が4つの柱からなることを説明する</p> <p>★社会保険の保障内容について簡単に説明する</p>	<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保障：ある状態が損なわれないように守るもの(ものものときに生活を守るもの) <p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度：国民の安心や生活の安定を支えるセーフティネット <p>・社会保障制度のうち、「リスクへの備え」としては社会保険が中心になる</p> <p>・詳細な説明は避け、社会保険から様々な保障を受けられることを伝えられればよい</p>	
<p>○【発展課題】困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう【WS】</p> <p>※グループで考えてもよい</p> <p>※発展課題として、時間があれば解かせる</p> <p>★それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか具体的に理解する</p>				

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
		<p>○リスクに備える3つの保障 ★私的保障の代表的なものに預貯金と民間保険があることを再度確認する</p> <p>○預貯金と民間保険① ★預貯金と民間保険のしくみを理解する</p> <p>○預貯金と民間保険②、③【WS】穴埋め ★預貯金と民間保険の性質の違い、それぞれのメリット、デメリットについて説明する ★★★預貯金と民間保険どちらがよいか、ではなくそれぞれの特徴を押さえた使い分けが大事であることを認識させる</p> <p>○保険のしくみ①② ★保険のしくみについて単純化した例で説明する</p>	<p>・民間保険とは、保険会社に保険料を支払うことで、リスクが起きたときに保険金を受け取れる契約である</p> <p>・ヨコ軸に時間をとり、タテ軸に万一の時に使える金額を示している</p>	<p>【資産形成】 スライド5～8</p>
	<p><ストーリー・スクリプト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人の部員がいるサッカーチームがある ・毎年5人の部員が骨折すると仮定する ・対策をしてもケガは減らない ・治療には費用が1人あたり1万円かかる <p>(次スライド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこである部員が思いついた「全員であらかじめ治療にかかる費用を準備しておけばよいのでは」 ・治療に係る費用はチーム全体で1万円×5人=5万円 ・5万円を100人で準備すればよいので、5万円÷100人=1人あたり年間500円 ・骨折した生徒は1万円を受け取り、治療費にあてることができる 	<p>○保険のしくみ③ ★単純化した例を、一つの図で示し、理解を深める</p> <p>○生命保険と損害保険【WS】穴埋め ★民間保険には、生命保険と損害保険があり、保険をかける対象が違うことを説明する</p>	<p>・全員が少しの負担でリスクに備えることができると補足する</p>	

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
	 <p>ライフステージによる必要な保障の違い 家族の状況の変化などで、必要な保障の金額が異なります。 ・てくなくなったときに必要な金額 (イメージ)</p> <p>まとめ③ ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。 ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。 ③ 公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。 ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。生活設計に応じて、リスクへの備えを考えよう。</p>	<p>○ライフステージによる必要な保障の違い【WS】 ★ライフステージによって必要な保障の金額がかわること、それにより定期的に必要な保障・備えなければならないリスクについて見直す必要があることを説明する</p> <p>○まとめ③【WS】穴埋め ★★★家族構成や年齢などによって必要な保障が異なるため生活設計に応じてリスクへの備えを考える必要があることを説明する</p>		<p>【生命保険（生活設計編）】スライド12～15</p> 
まとめ10分	 <p>まとめ ① 生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。 ② リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。 ③ 公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。 ④ 家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。生活設計に応じて、リスクへの備えを考えよう。</p>	<p>4.まとめ ○まとめ ★学んだ内容のポイントをふりかえる</p> <p>【WS】●今日学んだことや気づいたことについて書いてみよう</p> <p>★WSに穴埋めした内容などを振り返りながら今日の授業で学んだことを考えさせる ※グループで考えても良い ※問いかけの内容についてはアレンジ可能例)・「今日学んだことはこれからの自分の人生にどう生かせるか」 ・「自分にとって一番備えなければいけないリスクは何だと思うか」</p>		

6. 本教材における高等学校家庭科学学習指導要領との対応

- ・生活設計の取扱いについて、まとめとしてだけでなく、科目の導入と位置付けること、学ぶ内容と関連付けることとなった。
- ・「将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた対応などについても触れること」について、解説での記載から、学習指導要領本体への記載へと変わった。

※解説では、リスクへの対応として「預貯金、民間保険」等の資産形成の視点にも触れるようにすることとなっている。

改訂版

平成30年3月告示 高等学校家庭科学学習指導要領「家庭基礎」

A 人の一生と家族・家庭及び福祉

- (1) 生涯の生活設計 (2) 青年期の自立と家族 (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉

(5) 共生社会と福祉

ア 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解すること。

イ 家庭や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察すること。

【3 内容の取扱い (1) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。】

ウ (5) については自助、共助及び公助の重要性について理解できるよう指導を工夫すること。

【学習指導要領解説 家庭編】

社会的制度、社会福祉の基本的な概念、共に支え合って生きる社会の考え方について理解できるようにする。・・・

自立的な生活と、家族や学校、地域の人の支え合いなどの身近な環境、また国や自治体などの制度やサービスなどの

制度としての支援体制という支え合いの構造について理解する。加えて、自助・共助及び公助の概念だけでなく、互

助も含めたつながりについて理解できるようにする。

B 衣食住の生活と自立設計

- (1) 食生活と健康 (2) 衣生活と健康 (3) 住生活と住環境

C 持続可能な消費生活・環境

(1) 生活における経済の計画

ア 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解すること。

イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などに関連付けて考察すること。

【3 内容の取扱い (2) 内容の範囲や程度について】

ウ Cの(1)のイについては、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた対応などについても触れること。

【学習指導要領解説 家庭編】

家計管理については、・・・事故や病気、失業などへリスクへの対応が必要であることを取り上げ、預貯金、民間保

険、株式、債券、投資信託等の基本的な金融商品の特徴(メリット、デメリット)、資産形成の視点にも触れるよう

にする。生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性については、・・・また、将来を見通して、事故や

病気、失業、災害などの不可避的なリスクや、年金生活へのリスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な

事例を通して考察できるようにする。

- (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境

D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

□監修

大藪 千穂 教授（岐阜大学教育学部）

□2026 度版編集協力（50 音順）（所属は 2026 年 3 月時点）

秋田 一早 先生（大阪府教育センター附属高等学校）	小鏝 純子 先生（園田学園高等学校）
池垣 陽子 先生（埼玉県立蓮田松韻高等学校）	谷 昌之 先生（大阪府立天王寺高等学校）
石坂 美樹 先生（青山学院高等部）	竝川 幸子 先生（京都府立洛北高等学校）
岩澤 未奈 先生（東京都立狛江高等学校）	新村 恭子 先生（東京都立葛西南高等学校）
内田 文子 先生（東京都立国立高等学校）	三野 直子 先生（東京都立竹早高等学校）
川邊 綾子 先生（海城中学高等学校）	